

## 肥料価格高騰対策事業申込誓約書

令和〇年〇〇月〇〇日

住所	咲洲 太郎
氏名 (自署)	大阪市住之江区南港北〇〇〇

### 1 事業内容に関すること

私は、事業に関する以下の4つの事項を誓約いたします。

- ①この支援金は、令和4年度から5年度までの2年間に化学肥料の使用低減につながる2つ以上の取組 (化学肥料低減計画書) を行うことを条件に支払われることを理解の上、申込みます。
- ②上記取組を誠実にいき、取組内容は作業日誌等で記録を必ず残します。  
(取組確認調査の際に、取組内容の記録等を求めます。)
- ③上記調査等の結果、申請内容に虚偽や不正がある場合や、化学肥料低減の取組が不適正や不十分と判断された場合は、支援金を返還すること、または、支払われないことに異存ありません。
- ④取組実施者において事務手数料や振込手数料などが生じる場合、これを差し引いて支援金が支払われることに同意します。

### 2 申請書類に関すること

私は、申請に必要な以下の書類 (①~③) が全て揃っていることを確認しました。

#### ① 肥料価格高騰対策事業申込書

- ・袋に『保証票』の印刷があることや販売店への問い合わせ等により、肥料法に基づく肥料であることを確認しましたか。
- ・申込票に肥料の名称と購入金額を正確に記入できていますか。
- ・肥料は全て令和4年6月1日から令和5年5月31日までの購入であることを確認し、返品できないことを理解していますか。
- ・申込書 (農業者様式第2号) に記入した肥料の購入伝票等 (写しで可) は、全て添付していますか。

#### ② 化学肥料低減計画書

- ・「前年度までの取組」欄で実施してきた内容のメニューに○が付いていますか。
- ・「令和4年度又は令和5年度の取組」に、◎もしくは○が合わせて2つ以上付いていますか。 (既に2つの取組を行っており、新たな取組みを行わない場合は◎ (取組強化) が必要です。)
- ・取組内容欄には、対象の作物名や面積、堆肥の投入量など、取組の概要が書かれていますか。
- ・当年の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用する旨の署名はしていますか。

#### ③ 振込口座届出書

- ・支援金の振込口座に関する情報の記入漏れはないですか

### 肥料価格高騰対策事業申込書

記入日	令和〇年〇〇月〇〇日	氏名	大阪 次郎
住所	大阪市中央区大手前2丁目〇〇〇〇〇〇		

1 購入した肥料 (府協議会が認めた注文票等を添付する場合は、合計額以外は記入省略可)

商品名	肥料法上の区分 (該当するものに○)	金額
くみあい燐加安444号	普通肥料・特殊肥料	88,900円
粒状ようりん	普通肥料・特殊肥料	26,300円
5.0綿実油粕	普通肥料・特殊肥料	52,380円
〇〇〇〇〇	普通肥料・特殊肥料	44,000円
×××××	普通肥料・特殊肥料	21,500円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
合計 (必ず記入してください)		233,080円

注文票等の一覧を添付する場合は  
記入省略できます

注文票等の一覧を添付する場合でも  
合計金額は必ず記入!

- 商品名は正確に記入してください
- 肥料法上の区分については、商品の表示(肥料袋等)を確認いただくか、購入した肥料販売店へご確認ください(指定混合肥料は普通肥料を選択)。
- 金額は同じ肥料を複数個購入している場合は、合計額を記入。
- 全ての肥料が購入伝票等で確認できるようにしてください。
- 肥料の注文はしたが、納品がまだの場合(購入伝票等が未発行の場合)は、請求書や発注書など購入の事実がわかる書類を添付してください。

2 確認事項

本申込書の内容に相違ございません。  (確認してチェック)

申込は (どちらかに必ず○をしてください)

この JA・肥料販売店等 (1か所) のみです。

2か所以上です。

購入伝票等添付用紙（足りない場合はコピーして追加してください）

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

添付する購入伝票等に以下の内容が全て記載されているか必ず確認してください。（記載が不十分な場合は購入店にご相談ください。）

- ① 日付（令和4年6月1日以降であること）
- ② 宛名（姓名が正確に記載されていること。『上様』は不可）
- ③ 購入金額
- ④ 肥料の商品名、数量等（肥料法に基づく商品であること）
- ⑤ 購入した店舗名・会社名

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水なす	15
しゅんぎく	10
その他	10
計	35

作物名・作付面積は  
取組を行う主要な農作物について記入  
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。  
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア〜スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

◎(従来の取組の強化・拡大)は  
・新たな品目で実施する  
・(品目は変わらないが)取組面積や回数  
を増加するなど

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア〜ソ)	取組内容(予定)
ア	時期: 令和5年8月 対象作物: 水なす 取組面積: 15a 内容(資材名など): 新たに土壌診断を実施し施肥を行う。
エ	時期: 令和6年2月 対象作物: しゅんぎく 取組面積: 10a 内容(資材名など): 水なすに加えてしゅんぎくでも堆肥を利用
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月〜令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

作物名・作付面積は  
取組を行う主要な農作物について記入  
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。  
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		○
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		○

前年度までの取組がない場合は、  
令和4年度又は5年度を取組に○が  
2つ(以上)必要です。

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(予定)
ク	時期: 令和5年10月 対象作物: 水稲 取組面積: 30a 内容(資材名など): 新たにれんげ米栽培に取り組む
ソ	時期: 令和6年2月 対象作物: じゃがいも 取組面積: 10a 内容(資材名など): 新たに大阪エコ農産物の認証を受ける
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

- ① 大阪エコ農産物の認証(年2回申請:7月・1月)を受けた後、
- ② 令和6年3月末日までにエコ栽培を開始する必要があります。(認証のみは×)

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり

当年(令和4年6月～令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

作物名・作付面積は  
取組を行う主要な農作物について記入  
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。  
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)	前年度までに取組を行っており、 継続(面積・回数等変更なし)して 実施する場合	
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア〜スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア〜ソ)	取組内容(予定)
ア	時期: 令和5年10月 対象作物: ぶどう 取組面積: 40a(1園地) 内容(資材名など): 新たに土壌診断を実施し、施肥を行う。
キ	時期: 令和5年9月 対象作物: ぶどう 取組面積: 100a 内容(資材名など): パーク堆肥を引き続き施用(1.5t/10a)
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月~令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水なす	15
しゅんぎく	10
その他	10
計	35

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計	アとエを(計画どおり)実施し、今後も継続して取り組む	
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の直		
ソ 地域		
総取組面積	40 a	50 a

◎:水なすとしゅんぎくに加えて、今後はその他の品目(10a)でも堆肥を利用する

ア:土壌診断(水なす 15a)  
エ:堆肥利用(水なす 15a+しゅんぎく 10a+その他 10a)

ア:土壌診断(水なす 15a)  
エ:堆肥利用(水なす 15a+しゅんぎく 10a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日):令和5年8月10日 取組面積:15a 対象作物:水なす 内容(資材名など):JAの土壌診断結果で施肥
エ	実施期間(実施日):令和6年2月21日 取組面積:10a 対象作物:しゅんぎく 内容(資材名など):もみがら堆肥500kg施用
実施対象	作業日誌の記録のほか ア)土壌診断結果、施肥設計書、施用した肥料の購入伝票など エ)もみがら堆肥の購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稻	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	○	○
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 施肥量・肥料銘柄の見直し		
ソ	○	○
総取組面積	40 a	70 a

○: 今後は新たに土壌診断による水稻の施肥設計により施肥を行う。

クとソを(計画どおり)実施し、今後も継続して取り組む

ア: 土壌診断(水稻 30a)  
ク: れんげ米栽培(30a)  
ソ: 大阪エコ農産物認証・生産(じゃがいも 10a)

ク: れんげ米栽培(30a)  
ソ: 大阪エコ農産物認証・生産(じゃがいも 10a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ク	実施期間(実施日): 令和5年10月22日 取組面積: 30a 対象作物: 水稻 内容(資材名など): 水稻収穫後、れんげをは種
ソ	実施期間(実施日): 令和6年2月15日 取組面積: 10a 対象作物: じゃがいも 内容(資材名など): 種いも植え付け、エコ栽培

作業日誌の記録のほか  
ク) れんげ種子の購入伝票など  
ソ) 大阪エコ農産物認証書、種いもの購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可



化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」)

◎: 今後は全てのぶどう園地で土壌診断による施肥設計により施肥を行う。(40→100a)

取組メニュー	令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 施肥量・肥料銘柄の見直し		
ソ	○	○
総取組面積	140 a	200 a

今後も継続して取り組む(面積等変更なし)

ア: 土壌診断による施肥設計(40→100a)  
エ: 堆肥の利用(100a)

ア: 土壌診断による施肥設計(40a)  
エ: 堆肥の利用(100a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日): 令和5年10月18日 取組面積: 40a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): 土壌診断による施肥を実施
エ	実施期間(実施日): 令和5年9月28日 取組面積: 100a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): パーク堆肥を施用(1.5t/10a)

作業日誌の記録のほか  
ア) 土壌診断結果、施肥設計書、施用した肥料の購入伝票など  
エ) パーク堆肥の購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水なす	15
しゅんぎく	10
その他	10
計	35

化学肥料低減計画書から転記してください。(作付面積が増減した場合は、最新の数字としてください。)

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
- 「(左のうち)既に実施した取組」には、今回の報告時点で既に実施した取組に○、◎を記入してください。(これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は5年度の取組予定	(左のうち)既に実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	◎	
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

○:水なすハウスの土壌診断を実施(R5.8.10)

※未実施のため空欄(しゅんぎくほ場にもみがら堆肥の施用を予定)

既に取組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日):令和5年8月10日 取組面積:15a 対象作物:水なす 内容(資材名など):JAの土壌診断結果で施肥
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
- 「(左のうち) 既に実施した取組」には、今回の報告時点で既に実施した取組に○、◎を記入してください。  
(これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は5年度の取組予定	(左のうち) 既に実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	○	
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア〜スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)	○	

※未実施のため空欄  
(れんげ米栽培(れんげ播種)を  
予定)

※未実施のため空欄  
(大阪エコ農産物(じゃがいも)  
の申請を予定)

既に取組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入し

記号(ア〜ソ)	実施期間(実施日):	取組面積:
	対象作物:	内容(資材名など):
	実施期間(実施日):	取組面積:
	対象作物:	内容(資材名など):

大阪エコ農産物は申請できる時期が決まっています。(年2回申請:7月・1月)  
この例の場合は、令和6年1月に申請する必要があります。  
(令和6年1月申請が取組期間中、最後の機会となりますので、確実に申請する  
必要があります。)

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
- 「(左のうち) 既に実施した取組」には、今回の報告時点で既に実施した取組に○、◎を記入してください。  
(これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は5年度 の取組予定	(左のうち) 既に実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エトオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア〜スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

○:ぶどうほ場の土壌診断を  
実施(R5.10.18)

○:ぶどうほ場にパーク堆肥を  
施用(R5.9.28)

既に取組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア〜ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日):令和5年10月18日 取組面積:40a 対象作物:ぶどう 内容(資材名など):土壌診断による施肥を実施
エ	実施期間(実施日):令和5年9月28日 取組面積:100a 対象作物:ぶどう 内容(資材名など):パーク堆肥を施用(1.5t/10a)
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可